

リ・ジェネレーション株式会社  
代理人弁護士 戸田 裕典 先生  
同 鈴木 多門 先生  
同 岡野 佑紀 先生

株式会社ナガホリ  
代表取締役社長 長堀 慶太

笹澤知夫氏に関する報道についての質問状

前略 株式会社ナガホリ（以下「当社」といいます。）は、以下の各事項について、貴職らによるご回答を求めます。

貴職ら及び貴職らが代理人を務めるリ・ジェネレーション株式会社（以下「貴社」といいます。）もご高尚のこととは存じますが、税理士の笹澤知夫氏（以下「笹澤氏」といいます。）なる人物が逮捕された旨の報道がなされていたところ、2024年6月12日付けで、ダイヤモンド・オンラインにおいて、「「スクープ」「超大手法律事務所」弁護士34人が8700万円の詐欺被害か、逮捕の税理士は有名作家の親族」と題する記事が配信され（以下「本件記事」といいます。）、上記笹澤氏が、貴社による当社株式の買付けの資金の供給者であるとして、2022年4月14日付け大量保有報告書等で開示されている、合同会社STAND UP GROUP（以下「STAND UP GROUP」といいます。）の代表社員である笹澤氏と同一人物である旨等が報じられています。

また、本件記事では、笹澤氏が税務顧問契約を締結していた森・濱田松本法律事務所に所属する34人の弁護士から共済金の掛け金名目で役8700万円をだまし取った疑いで、2024年6月5日付けで逮捕された旨が報道されており、併せて、笹澤氏は、資金繰りに苦労していたと窺われる旨や「弁護士からだまし取った金を自身の借金返済などに充てていたとみられる」旨も報道されています。

これまで、貴社からは、2022年10月26日付け「回答書 兼 質問状 兼 要望書（8）」にて、貴社による当社株式の買集めのための資金全額である7億1794万円を、STAND UP GROUPから、当社株式に何らの担保権を設定することもなく借り入れている旨ご回答頂いておりますが、笹澤氏が資金繰りに苦労し、遂には詐欺まで行うような人物であるとする、自らが代表社員2名のうちの1名であるSTAND UP GROUP（当社の調査による限り、STAND UP GROUPは貸金業の登録を受けて

おらず、公表情報に基づく限り、事業実態はないのではないかと考えられます)を通じて、貴社に対して無担保で合計7億1794万円もの融資を行ったことについて、当社としては、経緯・合理性・理由を理解しかねております。

また、本件記事の内容が事実であるとするれば、笹澤氏が詐取した金員の被害弁済等の必要に基づく資金回収のために、STAND UP GROUPを通じて貴社に貸し付けた資金の回収を図る等して、貴社による当社株式の保有状況等にも影響が生じ、当社株式に係る投資判断にも重要な影響を及ぼすのではないかと考えており、上場会社としては、株主・投資家への皆様に必要な情報を提供する必要があると考えております。

このため、以下の各質問につき、貴社のご認識されている事実関係をご説明ください。

(1) 2022年4月22日付け「回答書」にて、貴社の代表者と笹澤氏の間では、ビジネス上の面識がある旨については、ご回答頂いておりますが、貴社は、それ以上の回答を避けられております。改めて、貴社の代表者と笹澤氏の関係性や笹澤氏の素性について、詳細にご回答ください。

笹澤氏が、報道のとおり、詐欺を働いた人物であるとする、当社の相当割合の株式を有する貴社が、そのような者が保有・経営する会社から、当社株式を取得するための資金全額を、当該株式に担保を設定することなく借り入れていることは看過できず、その関係を詳らかにして頂く必要があると考えております。

(2) 本件記事によると、笹澤氏は、資金繰りに苦労していたとのことですが、資金繰りに苦労していた笹澤氏が代表社員2名のうちの1名であるSTAND UP GROUPが、貴社に対して、当社株式の買集めのための資金合計7億1794万円の全額を、当該株式に何らの担保権を設定することもなく融資するに至った理由について、貴社でお分かりになる範囲で差し支えありませんのでご説明ください。

(3) 貴社からは、2022年4月22日付け「回答書」では、守秘義務があるため回答を差し控える旨のご回答を頂戴していたため、STAND UP GROUPによる貴社に対する融資に関する借入条件等については、当社として把握できておりませんが、本件記事にて、笹澤氏は、弁護士からだまし取った金を自身の借金返済などに充てていたと報じられております。

他方で、2022年7月14日付け「回答及び質問状(6)」にて指摘したとおり、株式会社アジアゲートホールディングス(以下「アジアゲートHD」といいます。)が布山高士氏(以下「布山氏」といいます。)に対するNC MAX WORLD株式会社(以下「NC MAX WORLD」といいます。)株式の譲受けのための資金を調達するために、2022年1月14日を払込期日として、株式会社エム・クレド(以下「エム・クレド」といいます。)及びアクセスアジア株式会社を割当先として第三者割当増資を行っているところ、当該払込日の直後である同年1月28日に、エム・クレドは、当該第三者割当増資により取得したアジアゲートHD株式を、(貴社と同様に、貴社代表者が代表者を務め、その株式の100%を保有する)プラスワンホールディングス株式会社(以下「プラスワンHD」といいます。)並びにSTAND UP GROUPの出

資者（代表社員）の全てである笹澤氏及び中山勇介氏に対して譲り渡しており、プラスワンHDからは4億1860万円が、笹澤氏からは3億8853万円が、中山勇介氏からは4億5592万円が、それぞれエム・クレドに支払われております。

(i) 上記のとおり、資金繰りに苦勞していた笹澤氏がエム・クレドに対して、個人として3億8853万円もの金額を支払った経緯・理由について、貴社代表者が同じく代表者を務めるプラスワンHDも同時にエム・クレドから株式を譲り受けていらっしゃるため、ご存じの事実関係をご説明ください。

(ii) 笹澤氏が資金繰りに苦勞しており、弁護士からだまし取った金を自身の借金返済などに充てていたとの報道からすると、上記のエム・クレド株式の笹澤氏個人による譲受け（3億8853万円）及びSTAND UP GROUPからの貴社に対する融資（合計7億1794万円）の笹澤氏による負担分は、笹澤氏以外の第三者から拠出されているのではないかと疑念があります。貴社としては、当社株式を取得するにあたって、その全額を、笹澤氏及び中山勇介氏の2名を代表社員とするSTAND UP GROUPから借り入れておられますので、貴社が提出すべき大量保有報告書等に「保有株券等の取得資金」を適正に記載すべき観点からも、同社からの借入資金の出所については強い利害関係をお持ちであって、当然に説明を受けられた又は調査を行われた立場にあるものと考えられますので、貴社によるSTAND UP GROUPからの借入資金の出所について、ご説明ください。

(iii) 貴社からは、STAND UP GROUPからの借入れに係る借入条件等について何らご回答いただけていませんが、今後、笹澤氏が詐取した金員の被害弁済や借金の返済等のために、貴社に対して、STAND UP GROUPによる貴社に対する融資の返済を請求する可能性があるか、また、融資の返済を請求された場合に、貴社は当社株式を売却することとなるのかにつき、ご回答ください。

本件記事が公開されたことに伴い、当社に対しては、実際に、今後、当社の事業等に何らかの影響が生じ得るかについて投資家から質問が寄せられており、笹澤氏と貴社ないし貴社代表者の関係性については、当社株主・投資家の関心も高い事項ですので、早急にご回答頂くようお願い申し上げます。

なお、念のため付言いたしますと、当社と致しましては、当社の質問及び貴社のご回答そのものを公表することで、当社の解釈や要約の正確性の問題を惹起せずに関係性を開示することができることから、当社株主・投資家の投資判断に重要と思われる事項として、貴社とのやり取りについても継続的に開示しております。

殊に本書面の質問に関しましては、既に投資家からご質問を頂いているところでもありますので、当社は、本書面並びに貴社からのご回答ないしご回答状況に関しても、公表することを予定しておりますので、予めご承知おきください。また、ご回答の内容（又は未回答の場合にはその事実）について、場合によって

は捜査当局・規制当局、自主規制機関及び当社が株主管理の一環で把握している貴社の取引金融機関等に対して情報提供を行う可能性がございますので、併せて予めご承知おきください。

以上、ご理解のほど宜しくお願い申し上げます。

草々